

小中高生における森林についての意識調査

長野県林業大学校 林学科 1年 〇 森上 慶士 もりがみ けいし

要旨

私は、林業従事者の推移に着目しました(図1)。ここでは林業従事者数が減少する中で、高齢化率の低下と同時に若年者率の上昇がみられました。これについて、森林・林業に目を向ける若い人たちが増えてきたのではないかと考え、小中高生の森林についての意識を知りたいと考え、木曽地域の小中高生と兵庫県の高校生を対象に調査を行いました。

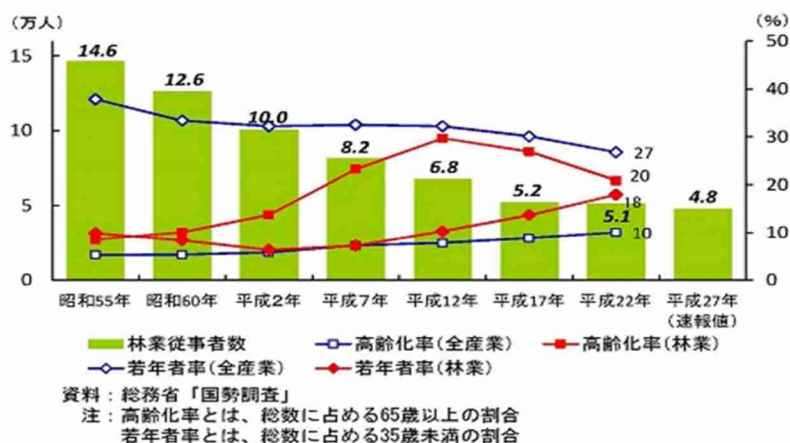


図1 林業従事者の推移

はじめに

調査方法は、木曽の小中高生と兵庫県の高校生の約20~36名を対象にアンケート調査を行い、樹種、森林の機能、木造などについて質問しました(表1)。また同時に、参考として木曽地域の一般住民についてもアンケート調査を行いました(表2)。まず仮説を立て、「小学生は森林の役割を答えるのが難しいのではないか」、「中学生は森林と関わるのが少ないのではないか」、「高校生は地域により知っている樹種が異なるのではないか」、「一般住民は木曽五木を知っている人が少ないのではないか」と考え、世代によって回答がどのように違うのか、結果を集計し分析しました。

1. 調査結果

(1) 小中高生

ア 自然や森林は好きですか

小中学校は調査対象者全員がはいと回答しました。はいの理由の中には、心が落ち着くから、空気

表1 アンケートの内容(小中高生)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 自然や森林は好きですか 2. 1の理由 3. 知っている樹種を教えてください(小学生3種、中学生5種) 4. 木工は好きですか どんなものを作ったことがありますか 5. 机やいす、家は木で作られているほうがいいですか 6. 自然が豊かとはどんなことだと思いますか 7. 森に遊びに行きますか 行くとすればどこに 8. 森林の役割、機能について教えてください 9. 母校は木で作られているほうがいいと思いますか 10. 木の家のいい点を挙げてください |
|--|

表2 アンケートの内容 (一般社会人)

1. 自然や森林は好きですか
2. 知っている木曾五木の名前を教えてください
3. 子供たちや息子たちに林業をしてほしいと思いますか。
4. 森林に期待している項目を1つ選んでください。
水源涵養機能 土砂防備機能
二酸化炭素固定機能 レクリエーション機能
5. 森林・林業についての意見を聞かせてください。

がおいしいから等の意見がありました。いいえの理由の中には、危険だから、大変だからといった意見がありました。

イ 知っている樹種

(ア) 小学校 調査対象者 25 名

小学生の多くがヒノキとアカマツを回答しました。その他の樹種の中には、イチョウ、スギ、クスノキ等がありました。

(イ) 中学校 調査対象者 20 名

中学生の全員がヒノキを回答しました。シラカバの回答人数が多いことについては、シラカバが長野県の県木であることを認識しているからだと思われます。その他の樹種の中には、ケヤキ、ヒバ、ミネバリ等がありました。

(ウ) 高校木曾 調査対象者 36 名

木曾の高校生の多数が木曾五木を回答しました。その他の樹種の中には、アカマツ、ブナ、ホオノキ等がありました。

(エ) 高校兵庫 調査対象者 24 名

兵庫の高校生ではスギとヒノキの回答が多くありました。また、回答にイヌツゲやソヨゴ等の低木が多くあったのは、実習で除伐を行うためだと考えられます。その他の樹種の中には、イチョウ、コナラ、ブナ等がありました。

ウ 木工は好きですか どんなものを作ったことがあるか

小学生は84%が好きと回答しました。作った木工作品として小中学校では、ペン立てやティッシュケース、木曾の高校ではベンチや柵、兵庫の高校では木馬やプランタカバー等の意見がありました。

エ 机やイス、家は木で作られているほうがいいですか

木曾の小中高校は、はいの回答が多くありました。兵庫の高校ではなじみがあまりないのか、いいえが少し目立った回答となりました。

オ 自然が豊かとはどんなことだと思いますか

森林が多いことや、緑がいっぱいであるとの回答が木曾の小学校、高校、兵庫の高校で多かったです。中学校では、意見の偏りが少ない結果となりました。

カ 森に遊びに行きますか 行くとすればどこに

木曾の中学生、兵庫の高校生は森に遊びに行くことが少ない結果となりました。木曾の高校では、86%と高い結果に対して、兵庫の高校では比較的いいえが目立つ結果となりました。行く場所を尋ね

たところ、こだまの森キャンプ場や赤沢自然休養林等の意見がありました。

キ 森林の役割、機能について教えてください

小学生の回答では、二酸化炭素を吸って酸素を作っているとの小学生らしい回答が多くありました。兵庫の高校生は二酸化炭素固定機能については回答がなく、水源涵養機能の回答が多くありました。

ク 母校は木で作られているほうがいいと思いますか

小学生は全員がはいと回答しました。兵庫の高校では、馴染みがあまりないのか、いいえの意見が多くありました。

ケ 木の家のいい点を教えてください

どの世代も温かみがあるという回答が多くありました。次に木のおいが良いという回答が目立ちました。

(2) 一般社会人

ア 自然や森林は好きですか

調査対象者の全員がはいと回答しました。

イ 知っている木曾五木の名前を教えてください

木曾五木、5つを全て回答できた方は71%でした。5つの中のいずれかひとつでも答えられなかった方は29%で、回答できなかった樹種には、コウヤマキ、アスナロ、ネズコがありました。

ウ 子供たちや息子たちに林業をしてほしいか

はいの回答が64%でした。木曾だからこそ比較的高い結果が現れたのではないかと思います。

エ 森林に期待している項目を選んでください

土砂保全機能が一番多く回答がありました。次に水源涵養機能が多くありました。

オ 森林・林業についての意見を聞かせてください

主な意見には、山の仕事にかかわる人が減らないでほしいや林業後継者が増えてほしい等の林業従事者に関係ある回答がありました。

2. 考察

小学生の多くは、森林の役割を認識していました。これについては、学校の授業での環境学習がしっかりと身につけているのだと思います。中学生が森林にあまり遊びに行かないという結果については、森林が身近であたりまえの存在に感じているためではないかと考えました。森林に遊びに来てもらうためには、関係者が森林を整備し、遊びやすく安全な環境を作っていくことが大事なのではないかと思います。高校生が県によって回答する樹種が異なっていたことについては、学校の実習で扱うものや、よく山などで見かける樹種が違うからだだと思います。一般社会人では、多くの方が木曾五木を認識しており、この結果については、やはり木曾五木が有名であり、よく耳にすることがあるからだだと思います。どの世代にも共通することは、森林が好きであること、ヒノキの知名度が高いことでした。

林業従事者数が減少している中で、平成2年以降若年者率が上昇している要因の一つには、今回のアンケート調査で森林や林業に関心があり理解を示したような人達の存在があると思います。林業の裾野を広げていくためには、このような人達を増やす教育を子供のころから進めることも大切になると考えられます。

おわりに

次回研究する機会があれば、県内都市部の松本市や長野市等で小中高生の意識調査をし、木曾地域との比較をしたいと計画しています。また、東京や名古屋等の都会の学生と一般の方々にご協力いただき、森林についての意識調査をし、日常生活空間に森林が少ない人達と長野県民との比較考察をしたいと思います。さらに、私自身も地域の木育活動等に参加し、森林教育の現状を知り効果的な教育方法について考えていくことが大切だと思っています。

今回の調査でご協力いただいた小中高校、一般社会人の方々に感謝しています。森林についての意識調査が目的でしたが、アンケートを依頼して分析する中で様々な意見を知ることによって、コミュニケーション能力が身につくより充実した研究となりました。

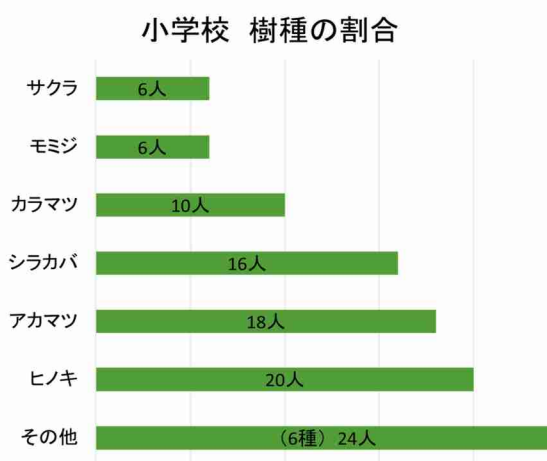


図 2-1 小学校 樹種の割合

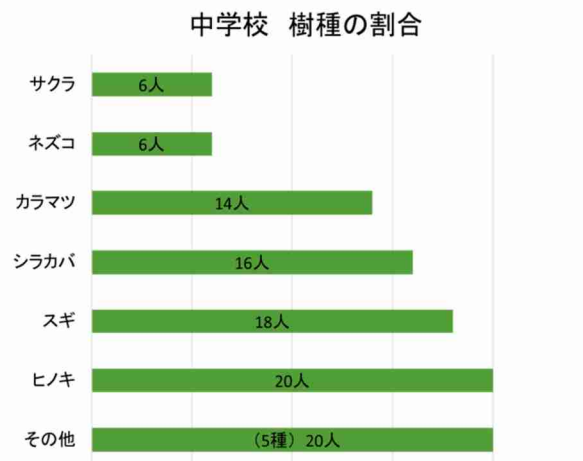


図 2-2 中学校 樹種の割合

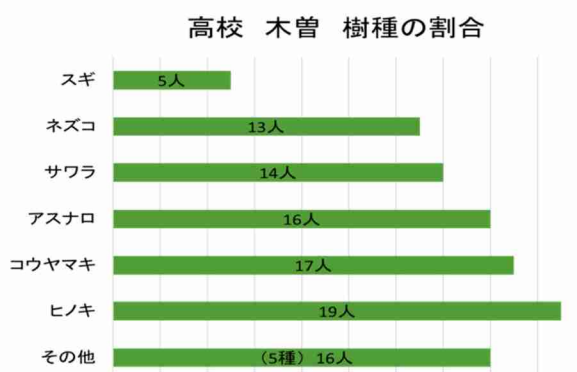


図 2-3 高校木曾 樹種の割合

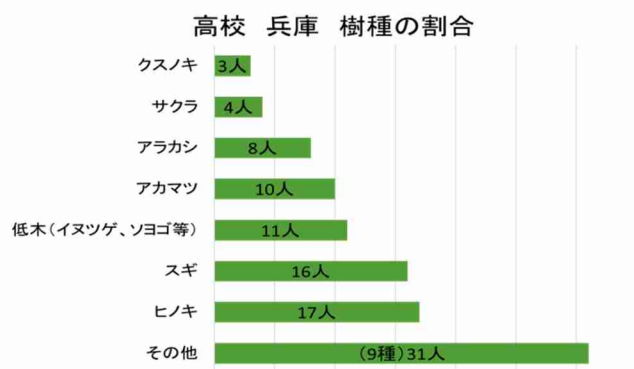


図 2-4 高校兵庫 樹種の割合

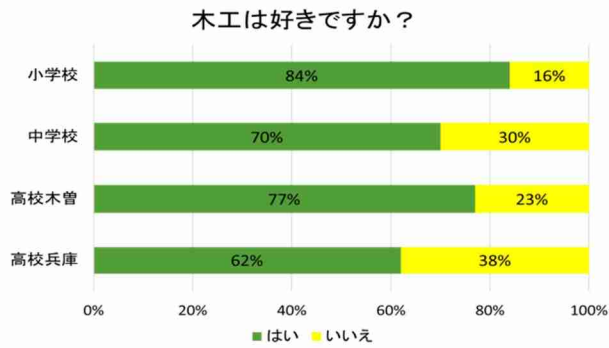


図3 木工は好きか

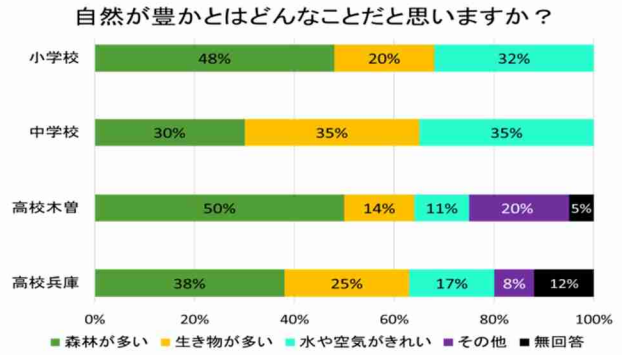


図4 自然が豊かとはどんなことだと思うか

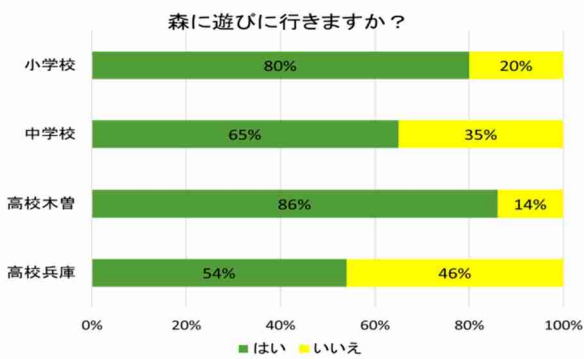


図5 森に遊びに行くか

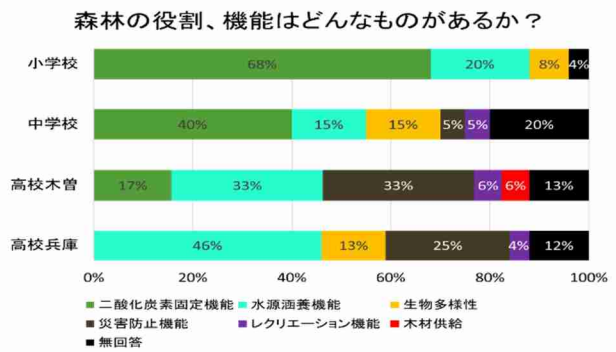


図6 森林の機能について

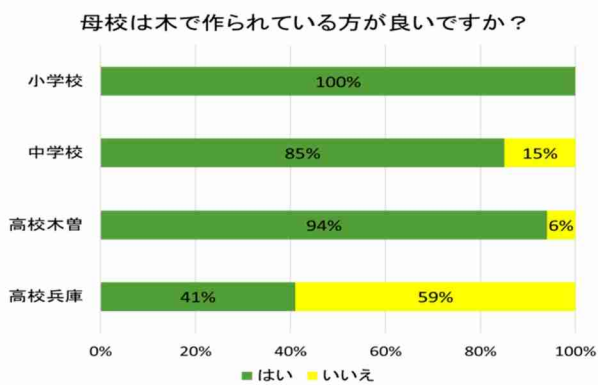


図7 母校は木で作られている方がいいか

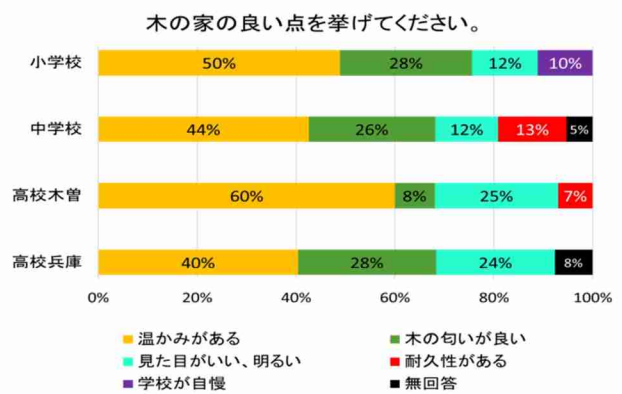


図8 木の家のいい点について